

2008.2.20
【第2号】



これはHTML形式のMAILです。オンラインで無い場合は画像が表示されない可能性があります。

HOME PAGE

SCHEDULE

EVENT etc

※ふるさとの会のメールマガジンをご愛読いただき、誠にありがとうございます。今後もふるさとの会の活動内容を定期的に情報発信させていただきたいと存じます。ご不要の場合はお手数ですがご返信くださいますようお願いいたします。

INDEX

- ① ふるさとの会2008年新年会のご報告
- ② 播磨社会復帰促進センター見学 リポート
- ③ 生活再建・相談センター 開所式のご案内
- ④ 就労支援ホームなずな リニューアル準備中！
- ⑤ 今月のボランティア募集

① ふるさとの会2008年新年会のご報告

如月の2月10日ふるさとの会は恒例の新年会を催しました。

会場はふるさとの会本部ビル3F、午後一時半から、財団法人城北労働・福祉センター管理課長池田幹雄氏に「ホームレス地域生活移行支援事業とは何であったか」というテーマで記念講演をいただきました。平成15年から始められた事業の計画・その背景から経過、そして、5年後の現状と今後の展望、方向性までの貴重なお話をいただきました。講演後は質疑応答がなされ、その後3時半からふるさとの会職員のオリジナル会場設定による新年懇親会を行いました。

懇親会では、世代交代として来年度より、佐久間事務局長が新理事長として就任する予定であることを発表をさせていただきました。これにつきましては、5月のNPO法人社員総会を経て正式決定される予定です。

ふるさとの会の更なる躍進、発展を目指すべく、これまでも増し皆様方のご指導ご鞭撻をいただきながら、職員一同一丸となり邁進してゆきたいと心を新たにしております。

どうぞ宜しくお願いいたします。

(佐藤信子)



当日は49名にも上るお客さまと職員30名が、ささやかな宴ではありましたが、日ごろの担当事業を越えて、交流を深めさせていただきました

② 播磨社会復帰促進センター見学 リポート

本号でお知らせの通り、4月1日から、ふるさとの会企画室ではボランティアの方々の力をお借りして、生活再建・再犯防止相談事業を開始いたします。

その相談業務を開始するにあたり、法務省保護局や東京保護観察所と数度にわたって協議を行い、また保護司さんや更生保護施設の方々、日本更生保護協会の方などからご助言をいただきました。さらに相談対象者の現在の状況を理解するため、播磨大林・ALSOKグループのSPC(特別目的会社)である、播磨ソーシャルサポート株式会社取締役で総括業務責任者の小川信一さんに協力を依頼して、「PFI方式民間刑務所」と呼ばれる播磨社会復帰促進センター(以下、播磨)へ見学に参りました。

播磨は、昨年10月1日に開所されたばかりで現在も急ピッチ(通常の3倍のペース)で入所・処遇分類調査などを行っている最中と報告を受けました。播磨や今年開所予定の島根あさひ社会復帰促進センターの特色は、施設内処遇として多彩な教育プログラムを実施しているところです。通常の刑務所は集団処遇で、一律のプログラムが実施されますが、「PFI民間刑務所」では再犯防止や社会復帰を支援するため個別処遇に重点が置かれ、なかでも「触法障害者」と呼ばれる知的・精神障害者には、特化ユニットプログラムが実施されていました。特化ユニットでは、専門家やさまざまな社会資源と連携を取りながら個人々に合わせたCBT(認知行動療法) SST(生活技能訓練) 作業療法などを

取り入れたプログラムを実施することで、出所後の社会復帰・再犯防止の実現を目標としているとのことです。

施設見学では、小川さんに案内していただきながら、播磨は各地の行政関係者など広く参観を受け入れ、地域の理解と現地雇用などを産み出されているなどの説明をしてくださいました。

見学途中で、刑務官の方からもお話を伺いました。播磨はA級(初犯、犯罪傾向の進んでいない)のほか、A級ではあるがm指標(知的・精神障害)が付く軽度知的障害のある方が入所されていて、出所後社会復帰の過程で適切な支援を受けないと再犯を繰り返し、社会と刑務所を行ったり来たりする累犯の連鎖に落ちてしまうという連鎖を断ち切りたいと熱く語っておられました。エピソードとして、高齢受刑者も同様に満期出所後、行き場所や生活支援などが無く不安に駆られ、その刑務所の管内でその日に「無銭飲食」をしてしまい、すぐ刑務所へ戻ってきてしまう方のお話も聞きました。

播磨を後にして、その晩ちょうど「播磨入り」をする予定であった、播磨大林・ALSOKグループのアドバイザーで「獄窓記」「累犯障害者」「続獄窓記」などの著作を出されている山本譲司さんにお会いし、生活再建・再犯防止事業について助言をいただき、さらに事業への協力を快諾していただきました。

この間、いろいろな方にお話を聞くなかで貧困問題が犯罪・治安問題に変化し始めていることに気づかされました。本来は福祉的支援の対象者である方が、生活に窮して「無銭飲食」「万引き」など、罪名は窃盗や強盗などであっても、比較的軽微な罪を犯し刑務所へ入所する。このようなルートが拡大している現状です。

犯罪白書や各種統計資料等では、刑務所の収容率は117.6%と「過剰収容」状態であり、新受刑者の10%が高齢者。罪名比率では窃盗が30%、しかも刑務所に6～10回以上入所する多重累犯者も増加傾向とあります。以前ふるさとの会が支援をした満期出所してきたばかりの人は、福祉的支援が受けられないのなら「ホームレスになるなら自害をするか、もう一度刑務所へ戻る」と厳しい選択を84歳という高齢ながら迫られていました。

本事業により、少しでも再犯防止、路上生活予防を行うことができ、安心した住居と安定した生活を送っていただけたらと考えております。

(秋山雅彦)

③ 生活再建・相談センター 開所式のご案内

ふるさとの会では、前々号でもお知らせしたとおり、CDC(Community based Development Corporation)事業の山谷展開として、生活再建相談センターを開設し、来たる4月1日より相談業務を開始する運びとなりました。

相談業務としては、主に次の2点が挙げられます。

ひとつは、法務省所管施設(刑事施設・保護観察所・更生保護施設)からの問い合わせに対して、東京都の福祉施策や社会資源についての情報提供を行うこと。もうひとつは、直接来所され、相談を希望される方へ、就労・医療・生活安定のための制度や社会資源へとつなぐコーディネート業務です。更に、現在調整中ですが、刑務所入所中で出所後東京東部地域に戻ってくる予定で、福祉的支援を希望する方に対して、相談センターが身元引受人となり、保護観察官・保護司・民生委員と連携して生活再建と再犯防止に取り組む支援プログラムも考えております。

この支援プログラムは、播磨などで実施されている特化ユニットプログラムと連携をすることで、施設内処遇と社会内処遇を連動させ、対象者へのより効果的かつ安定的な支援が可能になります。本事業への皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

就きましては4月からの開設にあたり、来たる3月29日(土)、ふるさとの会本部ビル3F研修室にて生活再建相談センターの開所式を行います。

当日は、記念講演会として本相談事業へのご助言をいただいております、山本譲司氏による「触法障害者をめぐる諸課題について」と題しての講演、そして懇親会を予定しております。

ご多忙のこととは存じますが、是非ともご出席賜りますよう、お願い申し上げます。

記

日 時:平成20年3月29日(土)
 午後1時30分～ 記念講演会
 山本譲司氏「触法障害者をめぐる諸課題について」
 午後3時～5時 懇親会
 場 所:ふるさとの会本部ビル3階 台東区千束4-39-6
 連絡先:ふるさとの会事務局 TEL:03-3876-8150



④ 就労支援ホームなずな リニューアル準備中！



この3月にヘルパーステーションふるさとの社員寮の開設を準備中です。社員寮はいままで「就労支援ホームなずな」として使ってきましたが、今春よりヘルパーステーションの社員寮としてリニューアルOPENいたします。

社員寮「なずな」はヘルパーを育成するとともに、若年不安定就労者の就労を支援するための中間施設として活用してゆきたいと思っております。まずは純粋な民間事業としての社員寮を軌道に乗せる。そして社員寮運営をつづけて若年層支援の経験を蓄積し、急増しつつある若年層の貧困問題に対応できるプログラムと方法論を作り出してゆきたいと思っております。

(佐久間裕章)

⑤ 今月のボランティア

敬老室日曜開放の特別行事は、毎月第3日曜日に昼食会 & イベントを行っております。今月は、みんなで『折り紙教室』を行いました。利用者さん、ボランティアともに5名ずつが参加し、マンツーマンで和やかに楽しく折り紙に没頭しました。

来月は、3月16日日曜日は『みんなで春の歌を歌おう！』と昼食提供を行う予定です。山谷に暮らす方々と交流することで山谷地域を知る機会にいただければと思います。料理自慢の方、楽器を弾ける方、歌の好きな方、是非ボランティアとして参加をお待ちしています。9:30集合で15:00解散の予定です。

また、コメ、調味料、保存食品などは随時募集しております。

お問い合わせは下記まで、お気軽にご連絡下さい。

<連絡先>

城北労働・福祉センター分館『敬老室』

03-3801-0377 (担当:町田)

メールアドレス: boranteahurusato@gmail.com

ふるさとの会ホームページも更新中！ぜひご覧下さい

<http://www.d5.dion.ne.jp/~hurusato/>



発行元: 特定非営利活動法人 自立支援センターふるさとの会

〒111-0031 東京都台東区千束4-39-6

TEL: 03-3876-8150 FAX: 03-3876-7950

E-mail: hurusato@d5.dion.ne.jp

HP : <http://www.d5.dion.ne.jp/~hurusato/>